

和光の緑と湧き水だより Verda118号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2012.8.15 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>

会の活動スケジュール表(予定の所は問い合わせさせていただきます。)(048-462-9912 高橋)

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	和光樹林公園
8月	白子ビオトープ観察会まとめ 白子川環境調べまとめ	18日 保全活動 観察会準備	9日大坂ふれあいの森 保全	16日ボランティア 体験・森の保全 20日 森と生き物観察会
9月	8日白子コミセン祭り 9月23日 和光の自然と歴史を散策する会	8日観察会 森で遊ぼう!! (下新倉児童センター共催)	5日白子湧水群 富澤湧水保全 20日大坂ふれあいの森	モニタリング調査

1. 自然環境の復元・調査を活かした試みでよみがえったカワモズク

● 都市部の自然は人の手が加わった環境の維持と、調査などを生かした復元が大切になってきています。白子湧水群自然環境調査は13年前にはじまり3年間行ないました。この知見と経験はとても大きく、和光の自然環境保全に役立っています。

この度、大坂ふれあいの森での試みもその一つです。

小さな水路の設置について、カワモズク生育環境の復元の可能性を考慮して、コンクリートを残しました。石やコンクリートに付着する性質は調査から得たものです。

小さな水路いっぱい、カワモズクや水生生物が生育する自然環境が復元されました。

カワモズクや生き物が棲める生物多様性が広がったこととなります。

● **小さな生き物達ががんばれ!! 皆で大切に見守ってくださーいね。 お願いします!!**



左：湧き水を利用した水路の設置の様子

右：目に見える房状のカワモズク

(チャイロカワモズク)

白子大坂ふれあいの森の会と力を合わせて保全しています。

2. 湧き水の会の活動でボランティア体験：自然環境の保全にも力に

● 自然に興味を持つ中学生のボランティア体験で、7月28日土曜日に白子川環境調べを行い、8月16日には樹林公園で森の保全と観察会準備にも参加が予定されています。みどりの保全と理解が進むよう今後を期待していきたいです。

8月20日は、環境課主催の「森と生き物観察会」で、高校生会員の田中君・大森君が観察会を盛り上げてくれます。子供も中・高生も大人も一緒に夏の自然観察を楽しみましょう。

3. 新倉ふれあいの森の竹林、斜面林に注目

● 竹の子掘りの季節が終わって、七夕にも竹の要望が多くあり、さらに今回本格的そうめん流しの竹の要望がありました。内田さんをお願いした所、見事な竹を細工してくださり、児童センターで「本格的なそうめん流し」が出来ました。また、下新倉児童センターからの依頼で、観察会「新倉ふれあいの森・森で遊ぼう!!」が9月8日にあります。

● ドングリ拾い、竹細工体験、生き物探しなど計画中です。